

大阪青山大学紀要

本誌は大阪青山大学が年に1回発行する学術誌である。

投稿規程

1. 投稿資格

- 1) 本誌に論文を投稿できる者は、大阪青山大学の所属教員、非常勤教員、元教員、大学院生、卒業生とする。但し、筆頭著者を除く共同研究者は、その限りではない。
- 2) 編集委員会は上記以外にも必要と認めた場合は、依頼することができる。

2. 投稿原稿の種類

- 1) 原稿の種類は、総説、原著論文、短報、研究資料（報告）、実践報告、研究教育上の問題提起とし、完結したものとする。
- 2) 論文の内容は、新しい価値ある知見が得られていると認められるものとする。
- 3) 原著論文は研究目的が明確で、その研究目的に合致した結論が得られ、研究の発展に寄与できるものとする。
- 4) 研究資料、実践報告は調査、統計、実験などの結果の報告で、研究の資料として役立つものとする。

3. 査読と投稿原稿の採否

- 1) 査読対象となる原稿は、総説、原著、短報とする。
- 2) 査読は、編集委員会が適任と認めた審査委員に依頼する。
- 3) 編集委員会は、査読の結果に基づいて原稿の修正を求めることができる。
- 4) 原稿の採否判定は編集委員会が行う。

4. 掲載可原稿

- 1) 査読後掲載可となった後、最終原稿とそのUSB等を編集委員会に提出する。なお、最終原稿中の英文は原則として英文校閲を受けたものとする。
- 2) 投稿原稿の受付年月日は、編集委員会に提出された日とする。原稿の受理日は、完全稿の審査が終了した年月日とする。

5. リポジトリ

- 1) 本誌に掲載された著作物は電子化し、大阪青山大学学術情報リポジトリで公開する。
- 2) 本誌に掲載された著作物の著作権は著者にある。ただし、投稿するにあたり著作権上複製権・公衆送信権を大阪青山大学に許諾する。
- 3) 著者は2)における許諾をいつでも取り消すことができる。

執筆要綱

- 1) 原稿は和文または英文とする。
- 2) 和文投稿原稿は、A4版の用紙を用い、ワードプロセッサを使用し、横書き10.5ポイントで印字する。上下左右余白は25mm、英文綴り及び数値は半角とする。外国語をかな書きとする場合はカタカナにする。なお、原稿を縦書きにしたい要望が寄せられた場合には、編集委員会の議を得て認めるか否かを決める。認められた場合の原稿の作成はA4版用紙（横置き）で縦書きとし、上記の作成形式に準ずるものとする。

- 3) 英文投稿原稿は A4 版用紙を用い、ワードプロセッサを使用し、ダブルスペースにして 10.5 ポイントで印字する。上下左右余白は 25mm とする。
- 4) 和文、英文いずれの原稿においても、各ページ下段余白の中央にページ番号を記載する。
- 5) 投稿原稿の書式は、和文の場合は①上から、論文題名、著者名、所属の順に日本語で記載する(1 段組)。②その下に、上記のそれぞれを英語表記で記載する(1 段組)。③その下に、英語で Summary を記載する(1 段組)。④その下に、Keyword を英語 5 個以内で記し、下に日本語表記で記載する(1 段組)。⑤本文は、緒言(はじめに、研究の背景と目的など)、方法(実験方法、研究方法など)、結果(実験結果、研究結果、調査結果など)、考察、要約(まとめ、おわりに、結語、注釈、註など)、謝辞の順に記載し、最後に文献を引用順に通し番号をつけて記載する。その記載は、著者名(全員)、“章の見出し”、書名、編著者名、版表示、出版社、出版地、出版年、初めの頁—終りの頁、とする。⑥本文中の文献引用は、文章右肩に 1) や 2) 3), や 4 ~ 7) などの様式を用い、掲載順に数字を入れる。⑦本文は 2 段組とし、20 字 40 行とする。字の大きさは 10.5 ポイントとする。
- 6) 投稿原稿が英文の場合の書式は、上記 5) の和文の書式に準じて英語で記載する。論文の最後に和文の要旨をつける。
- 7) 図・表・写真は、必ず A4 版以内の大きさでそのまま印刷が可能な原稿とする。図・表・写真にはそれぞれ通し番号とタイトルをつける。図・表は 1 枚毎に A4 版用紙に貼り、本文とは別に番号順に一括する。写真は 1 枚 300 ~ 500KB の大きさに加工して、原版写真を提出する。また、図・表・写真の挿入箇所には、必ず本文の余白に赤ペンで指示する。
- 8) 上記形式により作成された原稿 2 部を編集委員会に提出する。

附則

- 1) 本規程および執筆要項の改定には編集委員会の議決(過半数)を必要とする。
- 2) 本規程および執筆要項は、平成 20 年 10 月 1 日より施行する。
- 3) 本規程および執筆要項は、令和元年 10 月 1 日より施行する。